第23回北大形成外科

# アカデミー

Session 1

## 教育研修施設レポート　3:00～4:00　15分×6　Moderator：舟山恵美

・市立札幌病院
・北海道がんセンター
・斗南病院
・福井大学

Session 2

## 院生研究発表　4:05～5:05　Moderator：林　利彦

・大芦孝平
・村尾尚規
・蕨　雄大
・池田正起
・山尾　健
・皆川知広

Session 3

## 特別セミナー　5:10～6:10　30分×2　Moderator：山本有平

＜Part Ⅰ＞　古川洋志
・マイクロサージャンへの道～ビギナーの私と今の私
・脈管の可視化技術の進歩：ICG&PDEによるinnovation

＜Part Ⅱ＞　小山明彦
・われわれの小耳症治療：よりリアルな耳介をめざして
・北海道おけるcranio-surgeryの現状：北大Cranio-Facial Unit設立

日時：2011年12月10日（土）　午後3時00分より
会場：京王プラザホテル札幌（北5西7）

代表：北海道大学医学部形成外科学教室　山本有平
事務局：北海道大学医学部形成外科学教室
運営委員長：小山明彦
〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目
e-mail : info@prs-hokudai.jp

## Session 2　院生研究発表

悪性黒色腫の転移経路に関する動物実験：リンパ行性転移と血行性転移の関連について

大学院4年　大芦孝平

ケロイド線維芽細胞におけるHGF（Hepatocyte Growth Factor）のTGF-β拮抗作用についての検証

大学院3年　村尾尚規

顔面神経麻痺による神経信号入力変化をRNAで捉える
～顔面表情筋mRNA発現の定量的評価～

大学院3年　蕨　雄大

ケロイド治療への新たな視点
～皮膚に対する抗線維化薬の応用～

大学院2年　池田正起

ヒアルロン酸修飾インターフェロンβ徐放剤の開発

大学院2年　山尾　健

唇顎口蓋裂治療における再生医療
～機能性scaffoldを応用した顎裂再建～

大学院1年　皆川知広

## Session 3　特別セミナー

＜Part I＞　北海道大学形成外科　古川洋志

### マイクロサージャンへの道～ビギナーの私と今の私

マイクロサージャリーを現在も修行中の私で恐縮ですが、昨年の日本マイクロサージャリー学会の『ビギナーの私と今の私』という、自身の足跡をふりかえる企画で発表した内容を紹介いたします。

### 脈管の可視化技術の進歩：ICG&PDEによるinnovation

蛍光リンパ管造影が簡便にできる近赤外線カメラシステムを、当教室が、北大病院に初めて導入して以後、センチネルリンパ節生検とリンパ浮腫治療に必須のアイテムとなり、当教室はこの分野で多くの知見を発信し続けています。

＜Part II＞　北海道大学形成外科　小山明彦

### われわれの小耳症治療：よりリアルな耳介をめざして

小耳症治療はTanzerの報告から50年以上を経て、恒久性、合併症低減、犠牲低減など、さまざまな観点から進歩を遂げていますが、必須かつ至上の目標は正常耳介と判別ができないほど自然な形態を得ることです。この大前提に立ち返り、「写実性の向上」をテーマに、現在の治療について発表します。

### 北海道おけるcranio-surgeryの現状：北大Cranio-Facial Unit設立

頭蓋骨早期癒合症をはじめとした頭蓋顔面の発育不全や、外傷などによる頭蓋変形を対象とした脳神経外科と形成外科との医療チームを正式に結成し、「Cranio-Facial　Unit」の名称で特殊領域の診療を開始いたしました。Unit設立までの経緯と診療の現状について発表いたします。